

## ハッカソン概要

日程: 2025年9月13日(土) - 14日(日) ※ハッカソンに先立ち、ハンズオン講習会を 2025年8/23(土) - 24(日)に実施。

会場: 三重大学 環境・情報科学館 ※ハンズオン講習会: 株式会社ミエデン四日市事業所

主催: Web × IoT メイカーズチャレンジ PLUS 三重運営委員会

共催: 三重大学

協賛: 株式会社ZTV、株式会社ミエデン、IX ホールディングス株式会社、井村屋グループ株式会社

協力: 鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、CHIRIMEN Open Hardware、  
Web標準・ICT利活用人材育成地域連携協議会

後援: 総務省 東海総合通信局、三重県、三重県教育委員会、みえDX推進ラボ、三重県ケーブルテレビ協議会

概要: センサーやモーターなどをWeb標準技術(JS)から制御する方法等、講習会で学習した知識や技能を活かして  
「三重の“モヤモヤ”大発見！地域の困りごと × IoT」をテーマにしたハッカソンを実施。

参加者: 大学生10名、高専生1名、高校生2名、中学生1名、社会人8名、計22名 (4チームがハッカソン参加)



教材環境

Raspberry Pi Zero 版  
CHIRIMEN

### 最優秀賞: SAGI EYE

(チーム名: Deception Destroyers)

三重県では、特殊電話詐欺の被害が年々増加している。「SAGI EYE」は、高齢者を中心に被害が増加している特殊電話詐欺を未然に防ぐための見守りシステム。固定電話に取り付けたマイクで通話内容を取得し、AIが危険なワードや文脈を解析して詐欺リスクを判定する。危険度が高い場合は、鶯を模したモニュメントの目が光って警告を発し、利用者に注意を促す。受話器の有無を検知する超音波センサーとLED表示を組み合わせることで、既存の電話環境でも導入可能な仕組みを実現した。AIによる客観的な判断で感情に左右されない警告が可能となり、将来的には訪問販売やセールスなど電話に留まらない利用が可能。



# 2025年度 Web × IoT メイカーズチャレンジ PLUS in 三重 開催報告

目的	Society 5.0/Beyond 5G時代に特に必要な標準技術の創発・活用ができる人材に求められる知識・技能のスキルアップの機会とするため、主に初学者を対象に、Web標準技術を用いたIoTシステム開発の実践講習およびハッカソンを実施。標準技術やOSS利活用についての理解向上につなげる。			
使用教材環境	CHIRIMEN for Raspberry Pi Zero (Node.js*1から Web GPIO API*2 と Web I2C API*2 を扱う方式によるIoTプログラミング学習・実験環境。Raspberry Pi Zero に接続した電子部品をブラウザアクセスしたPCからプログラミングする) *1 JavaScript言語でWebサーバを構築するための開発環境    *2 汎用インターフェースであるGPIO/I2C経由でブラウザからセンサ・アクチュエータを直接制御するためのAPI			
開催テーマ	三重の“モヤモヤ”大発見！地域の困りごと × IoT			
運営委員会	主査	川中 普晴 氏 (三重大学 大学院工学研究科 電気電子工学専攻 教授)		
	参画自治体	三重県	運営事務局	株式会社 ZTV、株式会社ミエデン、一般社団法人 WebDINO Japan
	参画教育機関	三重大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校		
	ハンズオン講習会		ハッカソン	
日程	2025年8月23日(土) - 8月24日(日)		2025年9月13日(土) - 14日(日)	
会場	株式会社ミエデン四日市事業所		三重大学 環境・情報科学館	
参加者数	22 名		22 名 4 チーム	
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>座学講習(標準技術とOSSの基礎)</li> <li>Raspberry Pi Zero 版 CHIRIMEN ハンズオン講習</li> <li>アイデアワークショップ、チーム毎のミーティング</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>チーム毎による作品制作(ソフトウェア/ハードウェア)</li> <li>成果発表会(作品のデモ)</li> <li>作品審査および結果発表</li> </ul>	
講師／審査員	講師	座学講習: 標準技術やOSS活用の意義 瀧田 佐登子 氏 (一社)WebDINO Japan 代表理事 / WIMC PLUS 中央協議会 副査)  ハンズオン 講師: 渡邊 浩平氏 ((一社) WebDINO Japan シニアエンジニア	審査員	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡 信治 氏 (鈴鹿医療科学大学 医用工学部 医療健康データサイエンス学科学科長・教授)</li> <li>神山 大輔 氏 (IXデジタル株式会社 代表取締役社長)</li> <li>高木 悟 氏 (KDDI株式会社 技術統括本部 次世代自動化開発本部 シニアエキスパート / WIMC PLUS 中央協議会 主査)</li> <li>瀧田 佐登子 氏 (一般社団法人 WebDINO Japan 代表理事 / WIMC PLUS 中央協議会 副査)</li> </ul>
表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>最優秀賞: 作品名「SAGI EYE」(チーム: Deception Destroyers) &lt;メンバー&gt; 大学生 2名 / 社会人 3名 の5名チーム。</li> <li>特別賞: 作品名「タイムサーキット」(チーム: 39.8°C) &lt;メンバー&gt; 大学生 3名 / 高校生 2名 の5名チーム。</li> </ul>			
その他 (地域の特色など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハッカソン最優秀賞受賞チームには、総務省東海総合通信局より総通局長賞の賞状を授与。</li> <li>ハッカソン特別賞受賞チームには、WIMC+三重運営委員会より主査賞の賞状を授与。</li> </ul>			